

民主党・無所属の会 市議会レポート

【桜区版】9月号

編集・発行：さいたま市議会議員 阪本かつみ

民主党・無所属の会さいたま市議団 <http://www.minshu-mushozoku.jp>

「議会改革」実現に向け活動中！

9月定例議会 開会中

9月2日から10月16日までの日程で9月定例議会が開催されています。
今議会では、平成20年度 さいたま市一般会計・特別会計、企業会計（市立病院や上下水道事業）の決算審査を行う決算特別委員会が設置され、私も決算委員会の委員として質疑に臨みました。

既に済んでしまったこととはいえ、政令指定都市「さいたま」の創造と発展を希求する立場から「私たちの納めた貴重な税金が効率的に支出されているか？」「無駄遣いは無いか？」との視点で、大切な税金の使われ方を厳しくチェックをさせていただきました。

決算審査の内容につきましては、後日発行の「市議会レポート」や11月8日プラザウエスト多目的ルームにて開催する「市政報告会」などでご報告させていただきます。



さいたま市議会議員

阪本かつみ

保健福祉常任委員会 副委員長

決算特別委員会 理事

見沼田圃将来ビジョン特別委員会 委員

都市計画審議会 委員

コンパクトなまちづくりに対応した土地利用検討委員会 委員

さいたま市議会 新たな会派構成

さいたま市議会では、市長選挙や衆議院選挙結果の影響や、正副議長選挙を巡り、会派の合流や新たに会派の結成などが行なわれました。

- ・自民党さいたま市議団から3名、彩政会から1名が会派を離脱し、さいたま未来の会を結成した。
- ・自民党さいたま市議団と彩政会が合流。

さいたま市議会会派一覧

自由民主党さいたま市議会議員団	20人
民主党・無所属の会さいたま市議団	13人
公明党さいたま市議会議員団	11人
日本共産党さいたま市議会議員団	8人
みどりの風	6人
さいたま未来の会	4人
無所属	2人

阪本かつみ事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

阪本かつみホームページ アドレス

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~sakamoto-k>

平成22年度 予算編成並びに施策に対する提案（抜粋）

私たち民主党・無所属の会さいたま市議団は、平成22年度の予算編成にあたり、より積極的な施策の実行を求める立場から、64項目にわたる施策要望と提案事項をとりまとめ、市長に提出いたしました。

【行政改革】

- ・ 指定管理者審査選定における一層の公平性の確保
- ・ 補助金の在り方を検討する第三者機関の設置
- ・ 設計コンペ方式の導入、選考過程の公開
- ・ 学校給食の公会計制度導入
- ・ 区役所への予算と権限委譲の促進
- ・ 電算システムに関する契約にSLA（サービス品質保証制度）を導入

【環境・まちづくり】

- ・ CO2削減対策の推進
- ・ 自転車利用促進のための環境整備
- ・ 高沼用水と周辺緑地の保全整備に向けた庁内及び市民協働の実行
- ・ ドッグランの施設整備
- ・ 高度地区導入の早期実現にむけた積極的な取り組みを行う
- ・ 新公共交通システム（LRTを含む）に関する検討
- ・ 交通不便地区解消に向けたコミュニティバスの更なる充実
- ・ 都市計画道路の大胆かつ積極的な見直しの実行
- ・ 生活道路の整備促進
- ・ 緑の基本計画で掲げた街区公園数の目標達成
- ・ 未利用の市有地を公園、緑地、ポケットパーク、広場等に整備
- ・ 水害発生地域の調整池の整備促進
- ・ 鳥取方式による校庭や園庭、公園等の芝生化の促進

【経済・雇用】

- ・ 雇用、生活等の問題に総合的・一元的に対応する総合相談センターの設置
- ・ 下請けを重ねる度に労働者の受取り賃金が減ることのない「公契約条例」の制定

【健康・安心・高齢者】

- ・ 新型インフルエンザ対策の充実・強化
- ・ 市立病院、市民医療センターの医師、看護師の十分な確保
- ・ 地震以外の災害時（特に水害）における避難所の備えの充実
- ・ 安心できる医療ネットワークの維持
- ・ 地域包括支援センターの職員の増員
- ・ 特別養護老人ホームの待機者の解消

【子ども】

- ・ 子どもの権利条約を踏まえた「子ども総合条例」の制定
- ・ 認可保育園の整備促進を含めた待機児童ゼロの実現
- ・ 放課後児童クラブの待機児童の解消、6年生までに拡充
- ・ 少人数指導及び少人数学級の段階的拡大に向けた人員配置の増員
- ・ 特別支援教育における専任コーディネーターの確保
- ・ 学校給食における地場産の食材使用の推進